

ひとりのため  
みんなのため



大洲市

No.111 2014年 4月号

# 社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会  
〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313  
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>  
大洲社協  検索

## 共同募金 実績報告

共同募金実績額  
13,325,685 円

ご協力  
ありがとう  
ございました!



平成 25 年度 共同募金種別実績表

(単位：円)

| 地区名 | 戸別募金<br>募金額 | 法人募金<br>募金額 | 学校募金<br>募金額 | 街頭募金<br>募金額 | 職域募金<br>募金額 | イベント募金<br>募金額 | その他の募金<br>募金額 | 合計<br>募金額  |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|---------------|------------|
| 肱南  | 568,970     | 175,500     | 0           | 0           | 0           | 0             | 86,000        | 830,470    |
| 久米  | 382,900     | 119,000     | 0           | 0           | 0           | 1,866         | 128,000       | 631,766    |
| 肱北  | 256,790     | 167,500     | 0           | 0           | 0           | 0             | 298,000       | 722,290    |
| 喜多  | 668,800     | 396,000     | 0           | 0           | 0           | 0             | 286,000       | 1,350,800  |
| 平   | 374,930     | 346,000     | 0           | 0           | 0           | 0             | 62,000        | 782,930    |
| 平野  | 318,600     | 160,851     | 8,441       | 0           | 0           | 0             | 134,000       | 621,892    |
| 南久米 | 198,000     | 49,000      | 0           | 0           | 0           | 0             | 132,000       | 379,000    |
| 菅田  | 491,520     | 372,000     | 17,811      | 0           | 0           | 0             | 171,000       | 1,052,331  |
| 大川  | 157,000     | 15,000      | 2,775       | 0           | 0           | 0             | 158,000       | 332,775    |
| 柳沢  | 198,000     | 0           | 0           | 0           | 0           | 0             | 0             | 198,000    |
| 新谷  | 591,000     | 112,000     | 30,057      | 21,857      | 0           | 31,883        | 200,000       | 986,797    |
| 三善  | 145,600     | 75,522      | 1,562       | 0           | 0           | 0             | 144,000       | 366,684    |
| 八多喜 | 277,500     | 67,725      | 4,507       | 0           | 0           | 0             | 376,000       | 725,732    |
| 上須戒 | 93,000      | 11,000      | 3,200       | 0           | 0           | 0             | 52,000        | 159,200    |
| 長浜  | 1,023,950   | 343,000     | 63,045      | 26,966      | 75,373      | 0             | 618,073       | 2,150,407  |
| 肱川  | 379,462     | 97,000      | 26,779      | 9,761       | 88,305      | 0             | 205,732       | 807,039    |
| 河辺  | 159,400     | 112,500     | 28,643      | 0           | 49,000      | 20,559        | 173,111       | 543,213    |
| 事務局 | 0           | 36,469      | 99,343      | 118,959     | 284,953     | 10,000        | 134,635       | 684,359    |
| 計   | 6,285,422   | 2,656,067   | 286,163     | 177,543     | 497,631     | 64,308        | 3,358,551     | 13,325,685 |

平成 25 年度実績内容については、「社協だより特集号」で詳しく掲載いたします。

# 平成二十五年度 大洲市地域福祉（ボランティア）研修会開催

二月九日（日）、大洲市総合福祉センターにおいて、「大切なのは人の愛、親子・家族・地域の絆」をテーマとして大洲市地域福祉（ボランティア）研修会を開催しました。当日は、市内を中心に約二百三十名の参加をいただきました。

開会行事の後、向野幾世先生（NPO法人「かかしの会（障がい者自立支援の会）」理事長）を講師にご講演をいただきました。

先生は、奈良県立西の京養護学校長、奈良県立教育研究所障害児教育部長等を歴任されながら、障がい児教育の機会拡大や、障がい者と健常者の共生を目指して、脳性マヒ者自立の家「たんぽぽの家」づくり運動、「わたぼうし」コンサート「活動のバックアップ」等様々な活動をされています。



向野幾世先生です。着ておられるのは、ベトナム民族衣装のアオサイで、「この服にまつわる活動のお話もしていただきました。」

またその他にも、二〇一一年の冬には、東日本大震災で、家族を亡くした子どもたち二十五名を率いる団長として、キプロスに向かわれました。暖かい場所でも過ごしてもらおう目的で、キプロス政府から招待を受けての十五日間でしたが、先生は初日に、緊張している様子の子どもたちを見て、まず彼らのシャツの背中に日の丸をマジックで描き、「あなたたちは日本の外交官」と声をかけて、子どもたちを勇気づけられました。

先生の障がい児教育のきっかけのひとつとなったご家族のお話もされました。先生が子どもの頃、脳性マヒのお父様が、来客時に廊下を這って出て行かれたところ、お客さんに「しっしっ、あつちいけ。」「汚い、そばに寄るな。」と言われたそうです。それを何度か聞いた先生がお父様に、「悔しくないの?」と涙ながらに聞かれました。その時お父様は、「悔しくない。なぜなら、立場が逆になれば、自分も同じことをやったかもしれない。それよりも、心根の素晴らしい人にも出会っている。それが何よりうれしい。」「お父様から返ってきた言葉はこのようにしても前向き

だったそうです。そしてまた、子育てをしながら、お父様を支え続けたお母様の存在も大変大きかったと言われました。



笑いあり、涙ありのお話で、最後まで楽しく聴かせていただきました。

また、学校や地域で引き受ける「役」についてのお話もされました。何か役をしなければならぬ時、断る理由を考えて逃げようと思う方が多いけれど、それはとても損をしていることになる。先生の息子さんの保育所時代を例に出して話されました。人前で話すことが苦手だったご主人が保育所の保護者会長を引き受け、挨拶の時、緊張して大失敗されました。しかし、「親が子に残すものはぶざままで良い。子どもが大人になったとき、『お父さん、お母さん、

昔あんなことがあったね。』と温かい気持ちで思い出すことが出来るから。」とのことでした。

内容が多岐にわたった先生のお話は、時間が経つのも忘れるほど聞く者の心を引き込みました。そして、これも先生のお人柄が伝わる心温まるお話でした。家族や地域の人々がそれぞれ関わりを持ち、思い出を積み重ねていけば、自然としっかりとつながりができる。それは、有事の際、一人ひとりが思いやりの心を持って支え合うことができ、一人が行動を起こさないと何も始まらないということも気づかせてもらいました。

講演後、参加者の方から返ってきたアンケートには、「言葉が宝物のようにじみた。」「行動した分だけ人に感動を与える。」「今後の自分の生き方、地域の方々との絆などについて非常に参考になった。」「母に会いたくなかった。」「一歩ずつ少しでも変わっていったらと思う。」「若いお母さんにも聞いて欲しい。」「等多くの感動の声を書きつづられていました。

この日の参加者である地域福祉に携わる方々は、日頃、活動の中で様々な悩みに直面することが多いと思います。この研修会が、そんな方たちの心を少しでも軽くし、今後の活動に晴れやかな気持ちで取り組んでもらえる手助けになれば幸いです。



# まごころのおくりもの 1月分

## 金銭の部（一般分）

草莽の一蛸様 大洲市  
 中出和代様 徳森  
 (指定分)

## 《平野地区社協へ》

河野達郎様 平野町

## 《菅田地区社協へ》

矢野峯子様 菅田町  
 鳴滝泰儀様 菅田町  
 菊池理史様 菅田町

## 《柳沢地区社協へ》

城戸豊勝様 藤縄  
 徳田哲雄様 柳沢

## 《三善地区社協へ》

城戸良一様 多田  
 長見恒治様 春賀

## 《八多喜地区社協へ》

城戸徳雄様 米津  
 水成象一郎様 八多喜町

## 《上須戒地区社協へ》

西田稲美様 上須戒

## 《長浜地区社協へ》

(故)横田幸子様 長浜町  
 西山統様 長浜町

## 《肱川地区社協へ》

村田忠司様 肱川町

## 《河辺地区社協へ》

松本明様 河辺町

## 物品の部

### 《テイスサービスセンター若宮へ》

越智光親様 若宮  
 マッサージチェア

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

■このコーナーは、白石チツ子先生に担当していただいております。一般・施設・学生さんからの応募、大歓迎です。みなさんからの郵便のお待ちしております。  
 お問い合わせは、大洲市社会福祉協議会 地域福祉係まで

# 「ふれあいカヌー」 参加者募集中



カヌーやレクリエーションで楽しく体を動かし、親睦を深めながら「シンク・タンク」の活動を知ることができます。

**主催** 全日本レクリエーションクラブ「シンク・タンク」  
**会場** 国立大洲青少年交流の家、肱川  
**期日** 平成26年5月6日(火)～7日(水)(1泊2日)  
**募集人数** 15名  
**募集対象** 「シンク・タンク」の行事に興味・関心のある方どなたでも  
**参加費** 1人3,800円(保険料他諸経費含む)  
**申込方法** はがき又はFAXにて名前、住所、郵便番号、年齢、電話番号を明記の上、下記までお申し込みください。  
**申込締切** 4月21日(月)必着  
 ※天候によってはカヌーができないことがあります。

## <お申し込み・お問い合わせ先>

全日本レクリエーションクラブ「シンク・タンク」  
 事務局 中居 敏子  
 〒795-0063 大洲市田口甲2279-2  
 電話(FAX兼) 23-4126

## 俳句ひろば

連山の峰よりのぼる初日の出

入山 マサ子

評

連なる山の一番高い峰よりの御来光。言葉はいりません。手を合わせのみです。

竹筒の香る水仙無人駅

岩本 富良

評

誰もおらなくても香のゆたかに水仙は静かに人を待っています。

昨日今日あちらこちらの落の臺

上田 幸子

評

落は早春にいち早くまるい花芽を出します。一寸目につくと、あちらにもこちらにも。

蠟梅の青空小鳥飛び交ふる

笹田 幸子

評

蠟梅は十二月、葉に先だつて花をつけます。香りの高き花に鳥たちが来ている、自然はゆたかですね。

立ちつくす石灯笼に紅葉散る

谷村 サヨ子

評

ぼつねんと立つ石灯笼、散り紅葉がやさしく寄り添ひます。

おおずのボランティア  
紹介コーナー

ここでは、大洲市でがんばっている  
ボランティアを紹介していきます

第11回  
大洲アーティストグループ エンゼル  
会長 長岡正太郎



《どんな団体・活動ですか》

福祉施設へ、利用者の皆さんに歌謡曲、民謡、日本舞踊、和踊り、フラダンス、大正琴等を披露慰問する活動をしています。福祉施設以外にも、敬老会ほか各種団体のイベントへの出演もしています。会員数は十七名で、活動範囲は大洲市内だけでなく南予全域にわたっており、年間三十回以上出演しています。会員は、それぞれの芸を持っ

ています（プロの人も少数いますがほとんどアマチュアです。）が、練習は各自で行い衣装も自前で揃えています。

《発足とあゆみ》

もともと、自分なりの芸を持っている人たちが集まって披露慰問活動をしていました。芸の種類は、三味線、手品、腹話術、歌、踊り、バナナの叩き売り等、とにかく何でもありました。それが、高齢等でリタイアする人が多く出て、結局残ったのは三名。その三名が活動を続けようということになり平成二十一年に再結成という形で会を立ち上げ、また徐々に仲間が増えていきました。

団体名にある「アーティスト」は、「芸術家」というのではなく、極めようとするならばあらゆる事柄が芸として成り立つ「大道芸人」といったものをイメージして付けました。

《活動の楽しみ・魅力》

いつも、お客様の方に私たちが勉強させてもらえたり、元気をもらえたりしています。「よかったよ。また来てな。」と言ってもらえた時は、自分た

ちも年齢が高くなって身体が疲れていても「がんばろう！」と思えます。そして、いつまでもそんな風に声をかけてもらえるように、可愛く年をとりたいと思います。

また、施設の入所者の方等、お客様にどうやったら喜んでもらえるかいつも考えていますが、それも気持ちに張りを与えてくれます。キフキフの衣装、動きの研究、あらゆる工夫をしてお客様が喜んでくださっているのを見た時はやはり嬉しさがこみ上げます。

また、出演のため色々な場所に伺いますが、行ったことのない土地に皆で一緒に出掛けることは、「遠足」に行くようでわくわくします。出掛けた先で食事をとるに、今日の公演について話しながら過す時間はとても楽しいものです。

《今後の目標》

年齢や体調の関係でメンバーの入れ替わりもありますが、皆が仲良くやっていくことが何より大事だと思っています。会の中の雰囲気の良いお客様にも伝わってしまつものです。

仲間同士思

いやりながら、体に気をつけ元気で活動を続けたいと思っています。



心配ごと相談所案内

|                |   |
|----------------|---|
| 大洲市社会福祉協議会(本所) | 【一般相談】毎週月・水 【介護相談】毎週金<br>【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火(4月1日と4月15日)<br>【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火および毎週木<br>大洲市総合福祉センター<br>午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで) ※祝日を除く |
| 長 浜 支 所        | 4月25日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時   |
| 肱 川 支 所        | 4月 7日(月) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分   |
| 河 辺 支 所        | 4月10日(木) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午  |
| お問合せ先          | 本 所 ㉞23-0313 (代表、弁護士相談予約) ㉞23-5629 (相談室直通)<br>長浜支所 ㉞52-1194 肱川支所 ㉞34-2312 河辺支所 ㉞39-2510   |